

「チーム川尻」で学力UP！ ～学校と家庭と児童 de ワンチーム～

呉市立川尻小学校

研究の概要

本校の研究テーマを「主体的に学ぶ児童生徒を育成する教育活動の創造～学力向上に向けた指導方法の在り方～」とし、学力調査や意識調査等の分析を基に、「授業改善」「個別支援」「家庭学習」を取組の3本柱と考え、3年間取り組みました。つまずきの分析を生かし、授業改善や放課後学力補充教室で個別支援の充実を図るとともに、授業と関連させた家庭学習の定着を図るために、保護者に理解と協力を求め、「学校」と「家庭」の学びがつながるようにしました。「チーム川尻」として、同じ方向性で指導することで、指導の効果が上がり、児童の学習意欲をベースとして学力面での成果が見られています。

家庭学習

予習を川尻小のスタンダードに

児童の主体的に学ぼうとする態度を育成するため、家庭学習に、授業と関連させた「予習」を取り入れました。保護者にも、家庭学習の目的や具体的取組を知らせ、協力していただきました。

家庭とともに取り組むために

家庭学習の手引き

児童・保護者向け

「チーム川尻」

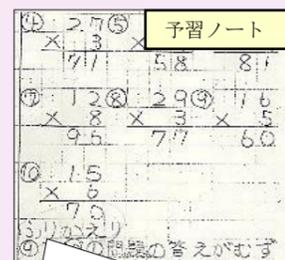
保護者向け



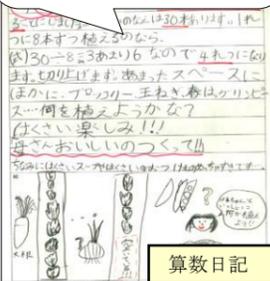
- 家庭学習の目的や方法を児童、保護者に示し、共通理解のもと、全校で実施！
- レベル1・2・3を提示し、個人に合わせてレベルアップでやる気もアップ！
- 家庭学習の定着度を確認するキャンペーンを定期的実施！

家庭学習のやり方をイメージできるように

予習ノートや、学んだことを生活とつなげた「算数日記」を教室に掲示しています。



（学習したことを活用した問題づくり）
今からさむくなつてくるので、はくさいを植えることにしました。はくさいのなえは30本あります。1れつに8本植えるのなら、 $30 \div 8 = 3$ あまり6なので...



取組の成果

- ・「予習で疑問に思ったことを授業で解決できる」という家庭学習の良さを児童が実感。
- ・自主学習や算数日記に取り組む中で、主体的に学ぶ楽しさに気付く児童が増加。
- ・家庭学習の定着率は、宿題提出率98%、自学実施率98%、予習実施率91%といずれも向上。

授業改善

「川尻小の授業モデル」の定着

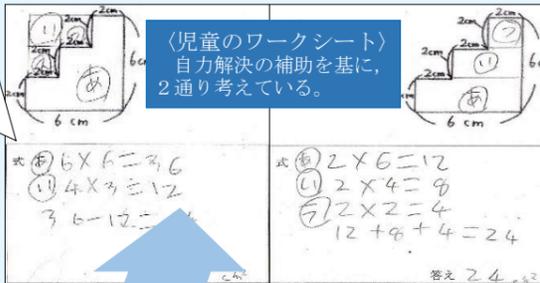
全ての児童が主体的に学びに向かえるように、学習のつまずきをレディネステスト等で分析し、つまずきに応じた手立てを講じるようにしています。児童一人一人が思考を働かせる場を位置付けた「川尻小の授業モデル」(課題をつかむ) (一人で考える) (みんなで考える) (まとめ、振り返り)の流れを基本にした授業づくりを行い、基礎学力を伸ばしていきました。

授業実践 4年 算数科「面積」

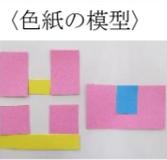
つまずき レディネステストで分析
・正方形と長方形の定義の理解が曖昧で、形の分類を間違う。

振り返り

ふくざつな形には、いろんなほじょ線の引き方があった分りました。U字型は「付け足し法」でほじょ線を引くとかんたんだったけど、かいだん型の方は、分れつ法の方が速くできました。



【一人で考えるための支援】
U字型を区切ると3つの四角形になることを示す色紙の模型を提示する。



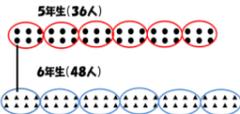
【自力解決のための支援】
①「分裂法」と「付け足し法」をカードで提示する。
②補助線を入れたら四角形に名前を付けさせる。

授業実践 5年 算数科「整数」

【自力解決のための支援】
最大公約数を探そうヒントカードを用意する。

【一人で考えるための支援】
解決のイメージをもてるよう方眼のモデル図を示す。

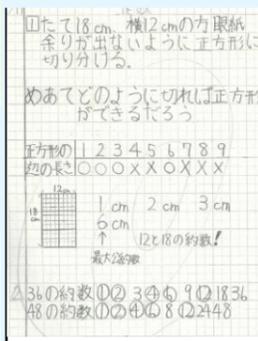
〈ヒントカード〉



つまずき レディネステストで分析
・文章から問題の意味を想像できない。
・問題の解決に最大公約数を使うことができない。



【児童のノート】
方眼のモデル図を使って最大公約数を見つけている。



取組の成果

〈児童の変容〉
・自分の考えを表現することが苦手な児童も、型にはめない「わちゃわちゃフリートーク」で、自分の考えを話せるようになった。
・分からないところを進んでたずねるようになった。
・正答率40%未満の児童の「基礎」の定着を図ることができた。

児童の意識の変容 (川尻っ子アンケート)



川尻小の振り返りポイントが 感心したよ
わ 分かったよ 分からんよ
じ じっくり 考えたよ
り 利用した・利用してみよう



個別支援

「マナビーランド」開設！ ～放課後学力補充教室～

つまずきの解消のため、個に応じた支援を行う学力補充教室を開設しました。



【わくわく作戦】
●シールがもらえる出席カード
●学期末ごとの頑張り賞(賞状)
●マナビープリントで実力アップ!



教室開設！個別指導



地域の方や学生ボランティアなど外部の人にも協力を呼びかけました。来ていただいた日は、子ども達がいつも以上に張り切って学習に取り組んでいました。

指導は職員が輪番で協力して

取組の成果 ～アンケートの記述から～

参加してよかったことは何ですか。

〈児童〉
●分からないところがあったらすぐに先生に開けた。
●いろいろな先生に分かちやくく教えてもらえた。
●勉強が少しずつ分かるようになった。
●テストの点数が上がった。

〈保護者〉
●分かる達成感が味わえ、意欲が出てきた。
●分からないことを調べたり聞いたりするようになった。
●分からないことを質問できると喜んでる。
●算数の苦手意識が減ってきた。
●家でも頑張るようになり、主体的に学習し始めた。